

# 大／阪／の／建／築／まちあるき——「堺」

すごうじんじゃほんでん  
菅生神社本殿



菅生神社本殿



鳥居と拝殿



天門寺の墓股詳細

天門寺 現在は摂社の戎神社の建物だが、元は神宮寺の「天門寺」

所在地： 堺市美原区菅生 178-1

最寄駅： 南海高野線北野田駅の東約 2km

## 建築概要

### ▶ 構造

一間社春日造 軒唐破風付 檜皮葺

### ▶ 堺市指定有形文化財 菅生神社本殿

指定年月日 平成 18 年 4 月 20 日

菅生神社(すごうじんじゃ)は、大阪府堺市美原区にある神社である。式内社で、旧社格は郷社。菅生天満宮ともいう。菅原道真と天児屋根命を主祭神とする。ほかに神社合祀により天照大神・素盞鳴尊・安閑天皇・菅田別命を併せ祀る。創建の由緒は不詳である。一帯は中臣氏の出身の者が多数住んでおり、地名から菅生氏を名乗るようになり、豪族として当地を支配していた。その菅生氏が祖神の天児屋根命を祀って氏神としたものとみられる。源平合戦の時、菅生朝臣一族は平家方に加勢したため敗北して、この地を追われた。中世、天満天神の祭祀が全国的な風潮となったのに乗じ、神社境内にあった宮寺の高松山天門寺の社僧等の発願によって菅公が境内の菅沢のほとりから忽然として誕生されたという説を唱え、天神を勧請して配祀して菅生天満宮と称するに至った。本殿は一間社春日造としては府内でも規模が大きなもので、正面の柱間は7尺に及び、式内社としての格式を示している。前方には幣殿と拝殿が接続し、周囲は側面に中門を設けた瑞垣で囲まれている。堺市にある神社建造物のうち、市内屈指の古さを持つ江戸時代中期(万治4年・1661)の建造物として貴重である。神社は、かつては京都や大阪の信奉者を持ち、「河内名所図会」(享和元年・1801刊)にも図入りで掲載されている。その図から社殿配置が変わらず、当時の景観を保っていることがわかり、その中で現在まで残っている建物としても貴重である。当地の歴史と文化を語るうえで欠くことのできない建造物であることから、平成18年4月20日に市の有形文化財に指定された。また、修理中には建築部材に「万治4年」(1661年)の墨書が記されているのが見つかり、建立年代が明らかになるなど、新たな発見があった。(七堂元敏)